

2022年度（令和4年度）  
第2回 中国地区英語教育学会 理事会 議事録

日時：2022（令和4）年2023年3月23-28日 メール審議

- 出席者：高橋俊章（会長）、山根正樹（副会長）、猫田英伸（副会長）、大谷みどり、篠村恭子、竹野純一郎、小山尚史、樋口慎一、西原貴之、堂鼻康晴、千菊基司、岩中貴裕、山口一成、猫田和明（事務局）
- 欠席者：なし

審議に先立ち、高橋会長より書面にて挨拶があった。

【協議事項】

1. 2023-2024年度役員（修正案）について

高橋会長より、[資料1]に基づき、2023-2024年度役員（修正案）の提示があり、原案の通り承認された。

□ 資料1：中国地区英語教育学会役員（2023～2024年度）[A4 2枚]

2. 第54回中国地区英語教育学会（広島大会）について

広島県の西原理事より、[資料2]に基づき、広島大会の案内文書の提示があり、原案の通り承認された。

4月から就任する新理事を含めて最終確認を行い、会員に案内（Webサイトに掲載）する。

□ 資料2：第54回中国地区英語教育学会・研究発表会のご案内 [A4 1枚]

3. 第55回中国地区英語教育学会（島根大会）について

島根県の猫田英伸理事により、2024年6月の第4土曜日である2024年6月22日（土）に島根大学松江キャンパスでの開催が提案され、承認された。

4. 『中国地区英語教育学会誌』第53号の学会賞の提案について

篠村学会誌編集委員長より、[資料3]に基づき、学会賞の提案がなされ、原案の通り承認された。

□ 資料3：学会賞候補の選出に関するご提案 [A4 3枚]

5. 『中国地区英語教育学会誌』（CASELE JOURNAL）投稿・執筆要項規程の修正案

篠村学会誌編集委員長より、[資料4]に基づき、投稿・執筆規程の修正案について提示があり、原案の通り承認された。

□ 資料4：『中国地区英語教育学会誌』投稿・執筆要綱規程（修正案）[A4 2枚]

6. 教育大学協会中国地区英語部門協議会に係る補助金申請の停止について

高橋会長より、以下の提案があり、原案の通り承認された。

## 【提案】

これまで、教育大学協会からの補助金は中国地区英語教育学会の収入として算入され、そこから中国地区英語教育学会とあわせて同日に開催される教育大学協会中国地区英語部門協議会（A）と、中国地区英語教育学会理事会（B）の出席者の弁当代を支出していた。

しかし弁当代のために教育大学協会への補助金申請が必要であった。それには、開催校による膨大な申請書類の作成、AとBの出席者別の領収書の作成、補助金を受け取った開催校の教員の口座から中国地区英語教育学会への送金手続きなどで、大会開催校と学会事務局の両方に大きな事務的負担がかりデメリットが大きかった。

その問題を解消するため、今後は、教育大学協会への補助金の申請を取りやめ、この弁当代の支出については、2024年度から教育大学協会の出席者分も含めて中国地区英語教育学会の理事会運営費からまとめて支出することによって作業の軽減を図りたい。

7. その他 特になし

## 【報告事項】

### 1. 2022年度 CASELERSs について

篠村学会誌編集委員長より、[資料5]に基づき、2022年度 CASELERSs の報告があった。

□ 資料5：2022年度 CASELERSs について（報告）[A4 1枚]

### 2. 全国英語教育学会の日程及びフォーラムについて

猫田和明事務局長より、[資料6]に基づき、報告があった。2024年度から2年間は課題研究フォーラムを担当することになる。

□ 資料6：全国英語教育学会の日程及びフォーラムについて [A4 1枚]

### 3. 全国英語教育学会の地区ローテーションについて

猫田和明事務局長より、[資料7]に基づき、全国英語教育学会の地区ローテーションについて、以下の事項を含めて報告があった。

- ・2026年度に中国地区で全国大会があること。
- ・紀要編集委員長・副委員長のローテーションが、2029・2030年度から北海道・四国の合区で担当になること。

□ 資料7：全国英語教育学会 各地区学会の担当ローテーション [A4 1枚]

### 4. 全国英語教育学会からの連絡事項

猫田和明事務局長より、以下の連絡事項について報告があった。

全国英語教育学会第48回香川研究大会は、2023年8月19-20日（大会当日）（前日18日に理事会）を香川大学教育学部（〒760-8521 香川県高松市幸町1-1 <https://www.ed.kagawa-u.ac.jp/>）にて対面開催で予定しているが、同時期に全国中学校体育大会の一部が高松市で開催される。そのため、良い宿泊施設は早めに埋まってしまうことが予想されるため、宿泊施設の予約は早めにするを推奨する。

5. その他 特になし